

演題            3D 模型を利用し歯牙移植を行った 1 症例

演者名        飯干光男

日付           2014 年 9 月 30 日

keywords

1. 3D モデル
2. 歯牙移植
3. 3 インサイザー

口腔内を健全に維持していくためには、歯牙、歯周組織、インプラント周囲粘膜に可及的に炎症がコントロールされていることが望ましい。

さらに、健康な歯周組織が成立し、修復治療もすることなく全ての天然歯が存在し、機能的、審美的な条件を十分満たすことが理想である。

しかし、現実はずでに根管治療が施されていたり、深いカリエスに罹患し、保存不可能な状態になって初めて歯科を訪れる患者の割合が断然多いのも周知の事実である。

本症例は、カリエス多発傾向の 20 歳の女性に歯牙移植、矯正、歯髓覆卓などを行い、できるだけ歯冠修復治療やインプラントを行わないことを治療目標とし、合わせて咬合の不調和の改善も試みている段階です。

前回、発表した症例の途中経過ですが、諸先生のご意見、ご指導をお伺いしたいと思っています。宜しくお願いします。